

# 授業改善のポイント 第4学年

書くために必要な事柄を集める力を付ける

聞き取りメモを書く。



取材の前に指導しておくこと

- ① 関心のあることや疑問に思っていることから書くことを決めさせる。
- ② 課題を解決するために、適切な方法を選択して調べさせる。
- ③ 書く目的や書く相手を意識して取材させる。

②商品をつくるときに気をつけていることを、せんべい工場では、はたらく方にインタビューしよう。

①せんべい工場では、せんべいを作るときに  
どんなことに気をつけて  
いるかを調べたいな。

低学年では、経験したことや観察したことなど、身近なものを題材にして必要な事柄を集めさせます。

聞き取りメモ：取材に行ったときにメモしたもの

③せんべい工場調べたことを、クラスみんなに紹介する文章を書こう。

せんべいを作るときに気をつけていること

えい生面

・ 清けつな服そう

・ マスクやぼうし

・ 手あらいやしょうどく

・ ローラーやエアシャワー

← 服やぼうしのほこりを落とす

商品の安全面

・ せんべいの中に材料以外の物がまじっていないかを

機械で点けん

← ほかに

せんべいをやく

ふくろづめする

・ せんべいのおいしく食べられる期間を、ふくろに印刷



大事なことを落とさずにメモを取る練習をしておきましょう。

# メモを整理・分類する力を付ける

取材メモを整理・分類する。

えい生面と商品の安全全面は、別々にメモに書こう。



聞き取りメモを事柄ごとに整理・分類させます。そして、それぞれのメモにトピックセンテンスを書かせます。

## 〈取材メモ〉を書くときのポイント

- ①メモは、箇条書きで書く。
- ②一つの事柄について一つずつ書く。

低学年では、書く事柄の順序を整理する力を付けます。読む人にとって分かりやすい順番になるように、事柄の順序を考えさせます。

せんべいを作るときに気をつけていること

- えい生面
  - ・ 清けつな服そう
  - ・ マスクやぼうし
  - ・ 手あらいやしうどく
  - ・ ローラーやエアシャワー
- ← 服やぼうしのほりを落とす
- 商品の安全全面
  - ・ せんべいの中に材料以外の物がまじっていないかを
  - ・ 機械で点けん
  - ← ほかに
  - ・ せんべいをやく
  - ・ ふくろづめする
- ・ せんべいのおいしく食べられる期間を、ふくろに印刷

## 整理・分類

**エ あん全面に気をつける**

- ・ せんべいの中に材料以外の物がまじっていないかを点けんする。
- ・ せんべいのおいしく食べられる期間をふくろに印刷する。

**ウ 工場には機械がたくさんある**

- ・ せんべいをやく。
- ・ ふくろづめする。

**ア えい生面に気をつける**

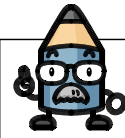
- ・ 清けつな服そうに着がえ、マスクやぼうしも身につける。
- ・ 手をよくあらってしようどくする。

トピックセンテンス

取材メモ：取材して分かったことを整理・分類して書く。

話題や構成に沿って、必要な事柄を選択する力を付ける

書く内容や文章の構成を明確にし、必要なメモを選ぶ。



自分の考えが明確になるように、「はじめ・なか・おわり」の文章を構成させます。そのときに《組み立て表》を作らせると効果的です。伝えたいことを意識して、メモを取捨選択させたり、順序を考えたりさせましょう。

気をつけていること  
は「二つあるから」、「な  
か」は、「二段落にしま  
う。」



商品を作るときに  
気をつけていることを  
紹介したいから、機械  
がたくさんあることの  
メモは使わないよ。

低学年では、「はじめ・なか・おわり」の構成を学習します。書くことに限らず、学習の基本となります。

おわり	なか		はじめ
○まとめ	○気をつけていること2 エ	○気をつけていること1 ア	○紹介すること 「商品を作るときに気をつけていること」

組み立て表



ウ 工場には機械がたくさ  
んある  
・せんべいをやく。  
・ふくろづめする。

エ あん全面に気をつける  
・せんべいの中に材料以外の物がまじっていないかを点検する。  
・せんべいのおいしく食べられる期間をふくろに印刷する。

ア えい生面に気をつける  
・清けつな服そうに着がえ、マスクやぼうしも身につける。  
・手をよくあらってしようどくする。

# 段落の役割を理解して、文章を書く力を付ける

内容のまとめとして段落をとらえて書く。



紹介文を書くときの基本的な文型を理解させます。

段落ごとに小見出しを付けておくと、各部分での段落の役割を意識して書き進めることができます。



「なか」は、「はじめ」に述べられたことに合うメモを選びます。

「はじめ」に、自分が伝えたいことを書きます。

おわり	なか	はじめ
<p>感想</p> <p>〈まとめ〉 分かったこと</p>	<p>なか②</p> <p>〈気をつけていること2〉</p> <p>なか①</p> <p>〈気をつけていること1〉</p>	<p>〈紹介すること〉 商品を作るときに気をつけていること</p>
<p>か り い る べ い こ と が 分 つ</p> <p>せ ん べ い な ら</p> <p>生 面 や 安 全 に</p> <p>・ せ ん べ い 工 場 に ・</p>	<p>の 安 全 面 で す ・ 商 品</p> <p>二 つ 目 は 、 商 品</p> <p>が え ・ ・ ・</p> <p>け つ な 服 そ う に 着</p> <p>せ い 面 で す ・ せ い</p> <p>一 つ 目 は 、 せ い</p>	<p>調 べ ま し た ・</p> <p>つ け て い る こ と を</p> <p>を 作 る と き に 気 を</p> <p>べ い 工 場 で 、 商 品</p> <p>わ た し は 、 せ ん</p>

自分が伝えたいことが、「はじめ」「なか」「おわり」で一貫しているようにします。「おわり」は、「このように」などのつなぎ言葉を使って、文章全体のまとめを書きます。

「なか」は、「一つ目」「二つ目」などの順番を表す言葉を使って書きます。トピックセンテンスを段落のはじめに書くようにします。

低学年から「はじめに」「次に」「それから」「最後に」などの接続詞を使って順序よく書けるようにします。